

令和5年度 第4回 渋川市市政モニターアンケート結果

渋川市は、市民の皆様から市政等に関する意見や要望をお聞きし、各種施策の推進や計画立案の参考とさせていただくことを目的に市政モニターアンケートを実施しました。

令和5年度 第4回 アンケートの集計結果は次のとおりです。

- 【調査対象】** 令和5年度市政モニター（公募10人・団体推薦36人）
＜モニターの要件＞
- ・市内に住所を有する18歳以上の人
 - ・公務員や地方公共団体の議員などでない人
 - ・同一世帯に市政モニターに応募しようとする者がいない人
- 【実施期間】** 令和6年1月29日（月）～2月13日（火）
- 【実施方法】** 主に電子申請による（一部、書面（郵送）調査）
- 【実施内容】**
1. 「男女共同参画」に関する意識等について（問1～問7）
 2. 選挙について（問8～問13）
 3. JR八木原駅周辺整備について（問14～問15）
- 【回答状況】** アンケート調査回答者：35人（20歳代～70歳代）
回答率：76.1%

参考

＜アンケート回答者の情報＞

- (1) 居住地 渋川地区（16人）、伊香保地区（6人）、小野上地区（1人）、
子持地区（5人）、赤城地区（2人）、北橋地区（5人）
- (2) 年齢 20歳代（2人）、30歳代（8人）、40歳代（2人）、
50歳代（8人）、60歳代（10人）、70歳代（5人）

＜前回アンケートの回答状況＞

- 回答者：36人（20歳代～70歳代）
■回答率：78.3%

渋川市

（政策戦略課）

令和5年度 第4回
 渋川市市政モニターアンケート結果

1. 「男女共同参画」に関する意識等について

市は、全ての人々が互いに尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別に関わらず個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現に取り組んでおり、男女共同参画と多様性を尊重する社会の推進を強化するために、「(仮称)渋川市男女共同参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の制定を検討しています。

また、市民等に向けたセミナーの実施等により、性別を理由に役割を決めつけてしまう「男だから、女だから」という意識の改変や、「性の多様性」に対する理解を深め、性別に関する思い込みや偏見の解消などに取り組んでいます。

問1 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。

- ① そう思う (1人・2.9%)
- ② ややそう思う (4人・11.4%)
- ③ あまりそう思わない (9人・25.7%)
- ④ そう思わない (17人・48.5%)
- ⑤ わからない (1人・2.9%)
- ⑥ どちらともいえない (3人・8.6%)

年齢別回答状況

単位：人

()は人数	①	②	③	④	⑤	⑥
20歳代(2)				1		1
30歳代(8)			3	5		
40歳代(2)		1		1		
50歳代(8)		2	3	2		1
60歳代(10)			3	5	1	1
70歳代(5)	1	1		3		
合計(35)	1	4	9	17	1	3

※全体的に③・④の回答が多くなっていますが、年代により回答のばらつきが伺えます

問2 一般的に女性が仕事をもつことについてどう思いますか。

- ① 女性は仕事をもたない方がよい (0人)
- ② 結婚するまでは、仕事をもつ方がよい (0人)
- ③ 子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい (1人・2.9%)
- ④ 子どもができて、仕事も続ける方がよい (28人・80%)
- ⑤ 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい (4人・11.4%)
- ⑥ わからない (2人・5.7%)

年齢別回答状況

単位：人

()は人数	①	②	③	④	⑤	⑥
20歳代(2)				1		1
30歳代(8)				6	2	
40歳代(2)				2		
50歳代(8)				6	1	1
60歳代(10)				10		
70歳代(5)			1	3	1	
合計(35)	0	0	1	28	4	2

※大半の回答が④であり、年代による回答の偏りは見受けられません

問3 次のうち「男性が優遇されている」と思うものを全て選んでください。

(複数選択可)

- ①職場 (17人・48.5%)
- ②学校教育の場 (5人・14.3%)
- ③社会通念・慣習・しきたり (22人・62.9%)
- ④社会全体 (15人・42.9%)
- ⑤わからない (6人・17.1%)

※問4・問5の回答状況と比べて、⑤の回答が全体的に少なく、「男性優遇」に関しては、多くの人を感じる部分があります

年齢別回答状況 (複数選択可) 単位：人

()は人数	①	②	③	④	⑤
20歳代(2)	2		2		
30歳代(8)	4		3	2	1
40歳代(2)	1		1		1
50歳代(8)	3	2	6	6	1
60歳代(10)	6	3	7	6	2
70歳代(5)	1		3	1	1
合計(35)	17	5	22	15	6

問4 次のうち「女性が優遇されている」と思うものを全て選んでください。

(複数選択可)

- ①職場 (6人・17.1%)
- ②学校教育の場 (0人)
- ③社会通念・慣習・しきたり (3人・8.6%)
- ④社会全体 (4人・11.4%)
- ⑤わからない (22人・62.9%)

※問3・問5の回答状況と比べて、⑤の回答が多く、「女性が優遇されている」と感じる場面は多くないようです

年齢別回答状況 (複数選択可) 単位：人

()は人数	①	②	③	④	⑤
20歳代(2)				1	1
30歳代(8)	4		1	1	3
40歳代(2)				1	1
50歳代(8)	2			1	5
60歳代(10)					10
70歳代(5)			2		2
合計(35)	6	0	3	4	22

問5 次のうち「男女の地位が平等になっている」と思うものを全て選んでください。(複数選択可)

- ①職場 (4人・11.4%)
- ②学校教育の場 (13人・37.1%)
- ③社会通念・慣習・しきたり (2人・5.7%)
- ④社会全体 (2人・5.7%)
- ⑤わからない (17人・48.5%)

※問3～問5の回答状況から、①～④のいずれでも、多くの人男女平等になっていないと感じているようです

年齢別回答状況 (複数選択可) 単位：人

()は人数	①	②	③	④	⑤
20歳代(2)				1	1
30歳代(8)	1	4	2		2
40歳代(2)					2
50歳代(8)	1	3			4
60歳代(10)	1	2			7
70歳代(5)	1	4		1	1
合計(35)	4	13	2	2	17

問6 次の言葉のうち意味や内容を知っているものを全て選んでください。

(複数選択可)

- ①アンコンシャス・バイアス (10人・28.6%)
- ②LGBTQ (28人・80%)
- ③ジェンダー (35人・100%)
- ④全て知らない (0人)

年齢別回答状況(複数選択可) 単位:人

()は人数	①	②	③	④
20歳代(2)	1	2	2	
30歳代(8)	2	8	8	
40歳代(2)	2	2	2	
50歳代(8)		6	8	
60歳代(10)	4	7	10	
70歳代(5)	1	3	5	
合計(35)	10	28	35	0

※認知度について、全体的な結果と年代別の結果が、概ね③>②>①の順になっています。50歳代では、特に①の認知度が低い状況です

問7 家庭や職場、地域社会などにおいて、男女平等な社会を形成していくために必要だと感じるものがあれば教えてください。

【主な回答】

- ・女性の社会進出や待遇について言われることが多いかと思うが、両性の理解が必要だと思う。働きながら女性の体調の変化や、育児家事の具体的に負担を理解しないと、本当の分業はできないと感じる。
- ・今回の問題は、難しいですね 伊香保では、高齢の方の意見が主になるそうです。会議の時など老人の方だけでなく、若い方など年齢に偏りなく色々な年代の男女で会議運営などする事が大事かと思います。
- ・どうしても時間が必要だと思います。諦めずに意識を浸透させることが大事ですが、一方で、完全なる男女平等も不可能なんだということも忘れてはならないと思います。平等についての考え方も人それぞれなので。
- ・男女平等=なんでもかんでも男性女性を同じに扱うものではないと思う。男性の得手不得手、女性の得手不得手あると思うので、双方の得手を伸ばせる形で結果、男女隔たりなく共同参画できていれば良いと思う。
- ・現在の男女平等とは機会という意味では平等であっても、性別による特有の生理状態(出産・生理・授乳などの子育て)はあまり考慮されていないと感じる。あくまで理解による思いやり、性別による理解力が社会全体に必要なこと。制度のみ整えても、理解ない故の空気が問題になる可能性がある。
- ・地域の役目などを女性も担うべきだ。
- ・男性は職場、女性は家庭という概念を家庭、地域、職場それぞれで、少しずつ無くしていく取り組みをする必要を感じます。

2. 選挙について

選挙は、国や地域の代表者を選ぶ手続きですが、投票率の低下、特に若い世代における投票率の低下は全国的な課題とされています。

市選挙管理委員会では、このような課題への効果的な対策を検討しています。

問8 選挙で投票する（投票した）人の理由は何だと思えますか。該当するものを全て選んでください。（複数選択可）

- ①権利として与えられているから（24人・68.6%）
- ②義務と感じているから（25人・71.4%）
- ③支持する候補者や政党があるから（18人・51.4%）
- ④家族が行っているから（4人・11.4%）
- ⑤誘われたから（2人・5.7%）
- ⑥市や県の選挙で身近に感じるから（5人・14.3%）
- ⑦その他（0人）
- ⑧わからない（0人）

年齢別回答状況（複数選択可）

単位：人

()は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
20歳代(2)	2		1	1	1			
30歳代(8)	4	5	5	1	1			
40歳代(2)	2	2	1			1		
50歳代(8)	7	5	3	1		1		
60歳代(10)	6	10	4	1		3		
70歳代(5)	3	3	4					
合計(35)	24	25	18	4	2	5	0	0

※①、②、③に回答が集中していることから、誰かに促されるなどして「投票する（した）」という考えは少なく、投票を行う人の選挙に対する意識が「投票する（した）」という行為につながると思われるようです

問9 投票しない（投票できない）人の理由は何だと思えますか。該当するものを全て選んでください。（複数選択可）

- ①投票に行く時間がとれないから・行くのが面倒だから（19人・54.3%）
- ②投票所に行きにくいから（距離や移動手段の問題）（10人・28.6%）
- ③誰に投票しても変わらないと思うから（24人・68.6%）
- ④政治や選挙に関心がないから（25人・71.4%）
- ⑤選挙があることを知らなかった・啓発活動が十分でないから（1人・2.9%）
- ⑥候補者や政党の情報が得られないから（6人・17.1%）
- ⑦身近な（市や県の）選挙ではないから（3人・8.6%）
- ⑧その他（5人・14.3%）
- ⑨わからない（0人）

年齢別回答状況（複数選択可）

単位：人

()は人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
20歳代(2)	2	1	2	1					
30歳代(8)	6	3	5	8		4			
40歳代(2)			2	2				1	
50歳代(8)	5	3	6	5			1	1	
60歳代(10)	4	2	8	7	1	2	2	1	
70歳代(5)	2	1	1	2				2	
合計(35)	19	10	24	25	1	6	3	5	0

※⑧と回答した人の中には、「投票してもしなくてもその行為自体にメリットデメリットがない」との意見がありました

問10 上記「問9」の回答の原因を解消し、投票する（できる）環境にするために必要なことがあれば教えてください。

【主な回答】

- ・期日前で市役所でできるのは有り難い。当日も市役所で投票ありにして欲しい。
- ・投票所の空気感が微妙、居づらい。マイナンバーカードを活用して投票するのもいいと思う。
- ・罰則を強化する。或いはその逆で投票に行くとなにかもらえる。行かないとまずい、行ったほうが得をするという仕組みを作る。
- ・電子投票の可能性を探る。コンビニを投票所として活用することを検討する。義務教育中に自分の投票行動が社会の仕組みや政治を変えることになるという教育をする。（キッズニアのようなリアル体験や、生徒会・児童会活動を実社会の選挙と結びつけて考える機会の提供など）
- ・身近なところで選挙結果で生活が変わったと実感すること。

問 11 選挙に関する情報について、知りたい情報を得られていますか。

- ①知りたい情報を得られている (21人・60%)
- ②知りたい情報を得られていない (14人・40%)

年齢別回答状況

単位：人

※30歳代以下の半数以上が②と回答しており、比較的、年齢が高い人が①を選択している割合が多い状況です

()は人数	①	②
20歳代(2)	1	1
30歳代(8)	2	6
40歳代(2)	2	
50歳代(8)	6	2
60歳代(10)	6	4
70歳代(5)	4	1
合計(35)	21	14

問 12 上記「問 11」で回答した内容に合わせて下記に回答してください。

■①「知りたい情報を得られていると回答した方 (21人)

何で情報を得ていますか (複数選択可)

- ①テレビや新聞などの報道 (13人・61.9%)
- ②市のホームページや SNS などの電子的な方法による発信 (4人・19.0%)
- ③市広報紙の情報 (1人・4.8%)
- ④新聞折込などによる選挙公報の配布 (1人・4.8%)
- ⑤立候補者自身による演説などの情報発信 (4人・19.0%)
- ⑥その他 (0人)

年齢別回答状況(複数選択可)

単位：人

※①は、広い世代に情報を得る手段として用いられています。市が情報発信する②・③は、選挙情報を得る手段としては、あまり用いられていないようです

()は人数	①	②	③	④	⑤	⑥
20歳代(1)	1					
30歳代(2)		1	1			
40歳代(2)	2					
50歳代(6)	4	1			1	
60歳代(6)	3	2			2	
70歳代(4)	3			1	1	
合計(21)	13	4	1	1	4	0

■「②知りたい情報を得られていない」と回答した方（14人）

どのような情報が不足していますか。

また、どんな方法で情報発信してほしいですか。

【主な回答】

- ・一覧表で候補者の情報が比較したい。
- ・そもそも自分がどんな情報が欲しいかよく分かりません。年齢でしょうか。学歴でしょうか。経歴でしょうか。これからどんな事をしてくれるのか。どんな人間なのか。
- ・政策がわかりにくい。今もあるが、自分の考えを選んでいくと自然に候補者にたどり着くようなアンケート。これをもっと身近でわかりやすくすればいいと思う。イエス、ノーで選んで進んでいくフォームを広報に載せるなど。
- ・候補者の意気込み以外に選挙戦でわかることがない。新規以外は任期中の通信簿などがあればわかりやすい。
- ・選挙カーで回るだけでなく、立候補者の具体的政策や考えなどの欲しい情報を SNS 等で発信していつでも収集出来るようにしてほしい。

問 13 投票率（特に若い世代）を上げるために必要だと思うことはありますか。

また、みなさんが投票しやすい環境を整えるために、投票所等の状況で改善して欲しいことがあれば教えてください

【主な回答】

- ・選挙に行くと渋ペイがもらえる、何かクーポンがもらえる、飲食店でオトクなチケットがもらえるなど。あとはスタンプを貯める方式で、景品交換など。
- ・ネット投票。委任状があれば、他者が代理投票できる。
- ・投票所の雰囲気が悪い。じっと見てる人が嫌だ。音楽を流してほしい。
- ・基本的に選挙日は忙しくていけない。期日前のタイミングをさぐっている。数年前に居住地へ越してきたが、初めての選挙では投票所の場所が分からず、またどう調べたらいいか分からず困ってしまった。地元であれば公民館に迷うことなどないのだが、若い家族などは、自分と同様に投票所がはっきり分からないということも珍しくないのでは。分かりやすい案内をしてほしい。
- ・投票所の空気が怖い感じがする。もっと誰もが入りやすい空気を作るべきだと思う。
- ・学校教育で意義や効果等をもっと教育すべきだ。
- ・ここ30年弱、若者の投票率はほとんど変わっていないのに、なぜ若者が投票に行かないと嘆くのだろうと思う。むかし若者だった現在40～50代の人達は、なぜ投票に行くようになったのだろうか。ほとんどは選挙に行かないことを許さない世間の風潮、自分の地位が上がったことによる責任を考えて行っているのではないだろうか。
- ・どんなに環境を良くしたとしても投票率は上がらないと思う

3. JR八木原駅周辺整備について

市は、地域の円滑な移動と安全の確保及び公共交通の利便性の向上を図り、JR八木原駅を公共交通軸とした市南部の地域振興、定住人口増加の一助となることを目的に、八木原駅周辺の整備に取り組んでいます。

JR八木原駅周辺整備事業では、送迎車両による交通渋滞の緩和を目的として、西側駅前にロータリー（送迎用駐車場など）を整備する計画があります。

問 14 JR八木原駅の利用状況を教えてください。

- ①定期的に利用している（1人・2.9%）
- ②定期利用ではないが、利用した事がある（14人・40%）
- ③利用した事がない（20人・57.1%）

年齢別回答状況

単位：人

①と回答した人の主な利用目的

【主な回答】

- ・家族の送迎

※40歳代以上の半数以上が③と回答していますが、特定地域の設問であるため、居住状況によっても回答に差がでているようです

()は人数	①	②	③
20歳代(2)		1	1
30歳代(8)		5	3
40歳代(2)	1		1
50歳代(8)		3	5
60歳代(10)		3	7
70歳代(5)		2	3
合計(35)	1	14	20

問 15 西側ロータリーのレイアウトを検討するに当たり、整備案A～D（次ページ）のうち、利用しやすいと思うものはどれですか。

- ①A案：駐車スペース重視タイプ（8人・22.9%）
- ②B案：バス乗降中央タイプ（2人・5.7%）
- ③C案：サービスエリアタイプ（14人・40%）
- ④D案：ロータリー循環タイプ（10人・28.6%）
- ◇未回答（1人・2.8%）

年齢別回答状況

単位：人

※問 14において、①または②と回答した15人（JR八木原駅を利用したことがある人）に絞った集計結果は、下記のとおりです

- ①（5人・33.3%）
- ②（1人・6.7%）
- ③（5人・33.3%）
- ④（4人・26.7%）

()は人数	①	②	③	④	◇
20歳代(2)	1			1	
30歳代(8)	2		1	5	
40歳代(2)			1	1	
50歳代(8)	3		4	1	
60歳代(10)		2	6	1	1
70歳代(5)	2		2	1	
合計(35)	8	2	14	10	1

<レイアウト案>

